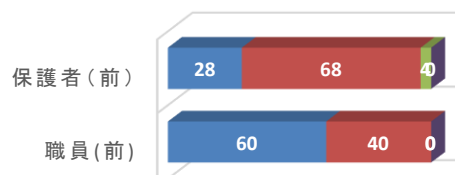


令和8年度 戸崎小学校教育評価結果（前期）

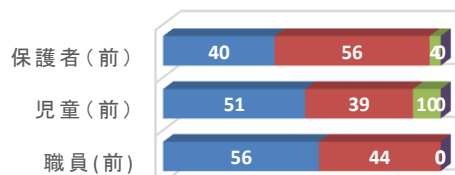
■ そう思う ■ どちらかという、と思う ■ どちらかという、と思わない ■ そう思わない

（１）学校経営の基盤について

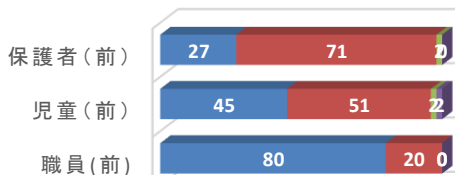
①学校は、教育方針や学校目標などを子どもや保護者、地域住民に分かりやすく示している。



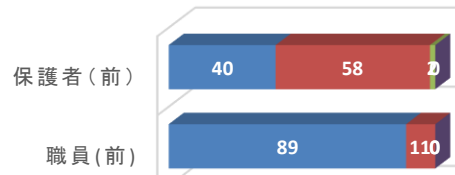
②学校は、子どもの学力を向上させるために、分かる授業をおこなっている。（授業が分かっていますか。）



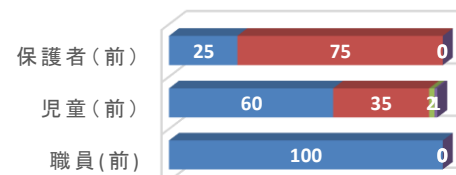
③学校は、「戸崎小学校のきまり」を守りよりよい生活ができるように、学校全体で指導している。（きまりを守って生活していますか。）



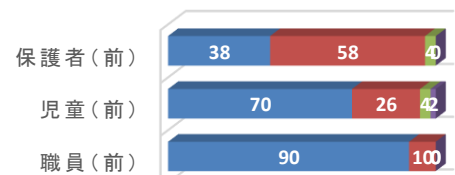
④学校は、保護者の相談に対して迅速に対応している。



⑤学校は、いじめの早期発見に努め、迅速に対応しようとしている。

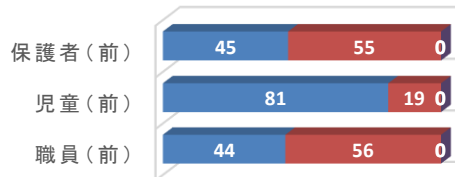


⑥学校は、地域の人材を活用し、地域と連携して教育を行っている。

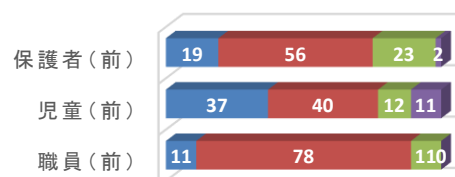


（２）教育活動（めざす児童像）について

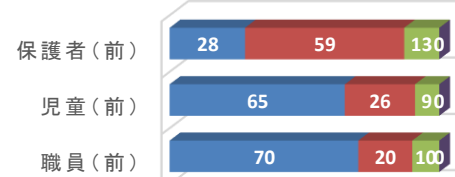
⑦子どもは、自分や他人、生き物などの命を大切にしている。



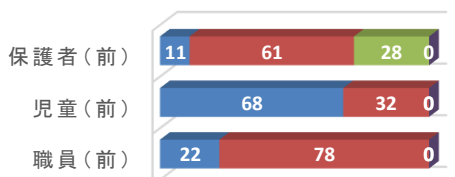
⑧子どもは、地域の行事や活動によく参加している。



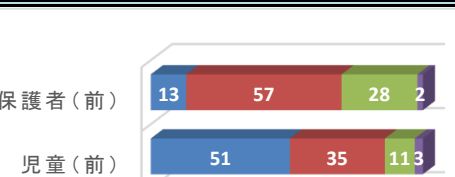
⑨子どもは、自分からあいさつをしている。



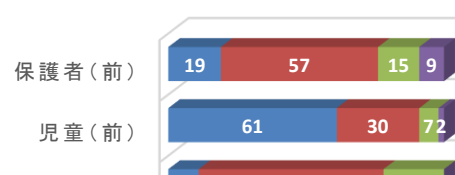
⑩子どもは、目標をはっきりさせて努力や挑戦をしている



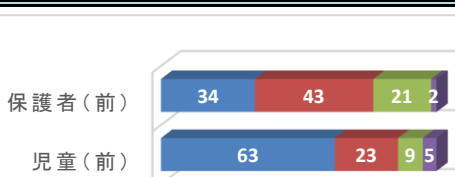
⑪子どもは、自ら問いを持ち、主体的に判断して行動（考動）している。



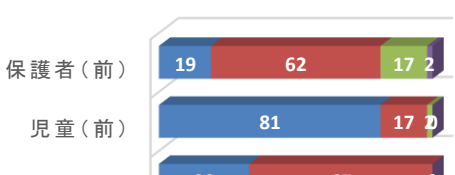
⑫子どもは、早寝・早起き・朝ごはんが実践でき、基本的な生活習慣が身についている。



⑬子どもは、外で運動するなど、進んで体を動かしている。



⑭子どもは、自分の命は自分で守ること、防災や安全に対する意識を持っている。



①【教育方針等の共有・学校経営の基盤】
学校目標や教育方針は、保護者・職員ともに高い肯定感を示し、共有が進んでいる。相談対応や「きまり」の指導も高い評価が得られている。

②【学力向上・分かる授業】
「分かる授業」は児童の約9割が肯定的に捉えている。一方で、完全に理解できていると言えない児童もいるため、個に応じた支援に努める。

⑤【いじめの早期発見・対応】
各主体で高い評価を得ており、早期発見と即時対応の成果が見られる。今後もアンケートや面談を通じた丁寧な見取りを継続していく。

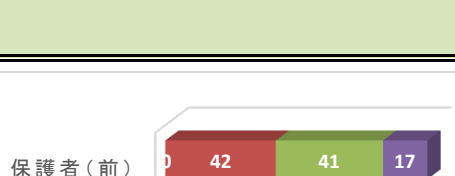
⑥【地域連携・環境美化・挨拶】
地域連携への評価は高い。挨拶やマナー、環境美化も良好な傾向にあるため、地域全体で子供を育む意識を高め、指導を継続する。

⑪【努力と挑戦・主体的な態度（考動）】
自ら考えて行動する姿勢（考動）や挑戦する意識は、児童と大人の評価にやや差がある。挑戦を認め・ほめる指導で自己有用感を育む。

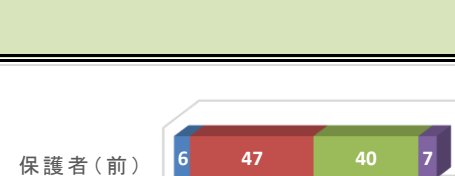
⑬【健康・体力向上・防災安全】
外運動や防災意識に対する児童の肯定感が高い。体力向上の取り組み推進とともに、訓練等を通して自分で命を守る意識を高めていく。

（３）家庭生活に関するものについて（プロジェクト運動、菊池っ子60運動より）

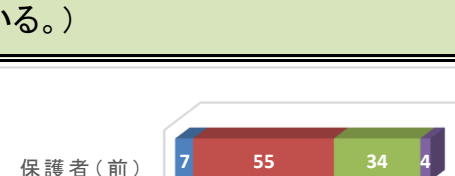
⑮子どもは、家庭で決めた時間や約束を守りながら、メディアを正しく使っている。



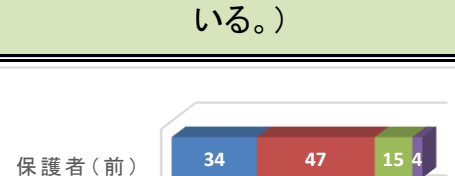
⑯家庭は、「メディア接触時間は60分以内」「ねる60分前にはスマホ等を使わない」が達成できるように声掛け、振り返りをしている（菊池っ子60運動より）



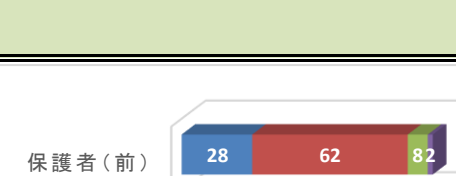
⑰家庭は、家庭学習の習慣化が身につくように、環境を整えたり、声かけをしたりしている。（お家で、テレビを消して学習したり、目標の時間まで学習している。）



⑱家庭は、10時まで（1、2年は9時まで）に就寝できるように環境を整えたり、声かけをしたりしている。（お家で決められた時間までに寝ることができている。）

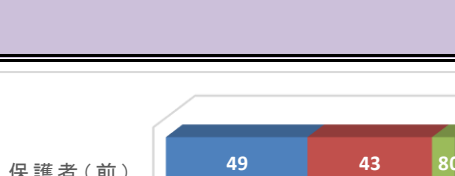


⑲家庭は、家族との会話を1日60分以上にするようにしている（菊池っ子60運動より）



（４）その他

⑳戸崎小学校に通わせてよかったと思っている。（戸崎小学校に通ってよかったと思っている。）



⑮～⑲【家庭生活・基本的生活習慣（菊池っ子60運動など）】
早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的生活習慣をはじめ、メディアの正しい利用や家庭学習の習慣化、家族での会話時間については、家庭ごとの取り組みや個人差が見られる。特にメディアとの付き合い方や家庭学習の定着度においては、児童の自己評価と保護者の実感に一定のズレが生じている部分がある。今後も「菊池っ子60運動」などの取り組みを通して家庭としっかりと連携を図り、メディア利用のルールづくりや就寝前の過ごし方を含め、規則正しい生活習慣の定着に向けた意識づけや丁寧な啓発活動を一層推進していく必要がある。

⑳【学校に対する満足度】
児童の約98%、保護者の約9割が「通わせて（通って）良かった」と回答している。今後も家庭・地域と連携し、児童の自己肯定感や愛校心を育んでいく。